



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

糖尿病とアルツハイマー型認知症の関係

徳島県認知症疾患医療センター長 大森 隆史

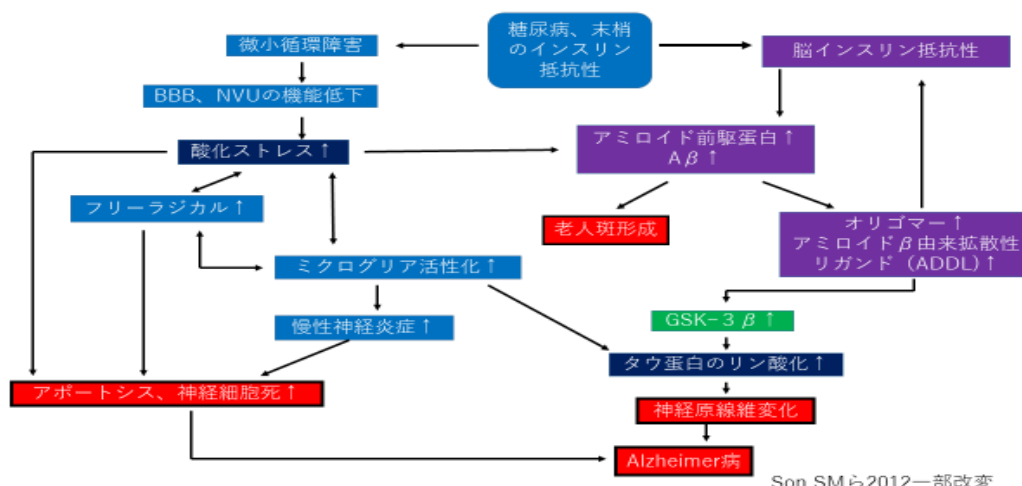
従来、糖尿病(DM)は血管性認知症(VaD)の危険因子であるといわれてきたが、近年アルツハイマー型認知症(AD)に対しても危険因子であることが明らかになってきている。ロッテルダムスタディではDMはADの発症リスクを2倍に増加させるという報告があり、久山町研究でも耐糖能異常はADの発症を2~4倍に増加させるという報告がある。

それでは、DMはどのような機序でADの発症リスクになり得るのか。最近では、2型糖尿病(インスリン抵抗性)とADとの関連が注目されている。まず、インスリン分解酵素(IDE)は、インスリンを分解するだけでなく、アミロイドβ蛋白(Aβ)の分解の一部を担っている。インスリン抵抗性状態になると、高インスリン血症になりIDEがインスリンを分解することに使われ、Aβ蛋白を分解するのがおろそかになり結果的にAβ蛋白が蓄積することになる。また、インスリン抵抗性により脳内のインスリンシグナルが低下すると、BACE1/βセクレターゼ及びγセクレターゼ活性を増加させ、Aβの合成がされる。さらに、Aβの合成促進によりAβオリゴマーおよびAβ由来拡散性リガンド(ADDL)の形成が促進され、タウ蛋白の過リン酸化が促進され、Aβオリゴマー及びAβ由来拡散性リガンドがさらに脳のインスリン抵抗性を増加させる。また、脳内のインスリンシグナリング下流の活性化Akt(セリン-スレオニンキナーゼ)により制御されているタウ蛋白のリン酸化酵素であるGSK-3βが、インスリンシグナルの低下により活性化され、タウ蛋白のリン酸化が促進される。

一方で、糖尿病による脳微小循環障害に伴う酸化ストレスの増加によるミクログリアの活性化が、Aβの産生を増加させ慢性神経炎症を引き起こし、タウ蛋白の過リン酸化を引き起こす。さらに増加したAβや異常な折りたたみ構造のタウ蛋白が慢性神経炎症を引き起こす。

結果として、Aβの蓄積により老人斑を形成、タウ蛋白のリン酸化により神経原線維変化の促進をもたらす。上記のように複雑に絡み合ってADの病態を形成していると思われる。

(引用文献 医学のあゆみ Vol.261 No.6 2017. 5.6)



E-ナース院内研修のお知らせ



① 『外来化学療法と病棟の連携』

講師：玉木 秀子氏（埼玉医科大学国際医療センター がん看護専門看護師）

日時：平成30年11月21日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『がん患者と家族のための心のケア』

講師：保坂 隆 氏（保坂サイコオンコロジー・クリニック院長）

日時：平成30年12月5日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『急性期病院としての退院支援の取り組みと意思決定支援』

担当：患者支援担当看護師長 嶋田隆 ・ 緩和ケア認定看護師 平井順子

日時：平成30年12月4日（火）18:00～19:00

場所：当院3階 講堂

② 『子どもの虐待対応～事例検討 ペーパーペーシエントでのGW～』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年12月14日（金）17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

③ 『痛みのアセスメント 重症患者の痛み』

担当：緩和ケア認定看護師 三木恵美、平井順子 ・ 集中ケア認定看護師 殿谷淳子

日時：平成30年12月21日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

④ 『苦痛症状の緩和（消化器症状、呼吸困難）』

担当：がん看護専門看護師 中島元美

日時：平成31年1月10日（木）18:00～19:00

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、
平成30年9月は、地域医療支援病院

紹介率 90.4% 逆紹介率 210.1% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。